

個人情報保護委員会（第76回）議事概要

- 1 日時：平成30年10月12日（金）14：30～15：30
- 2 場所：個人情報保護委員会 委員会室
- 3 出席者：堀部委員長、阿部委員、嶋田委員、熊澤委員、丹野委員、手塚委員、加藤委員、大滝委員、宮井委員
其田事務局長、福浦事務局次長、的井総務課長、佐脇参事官、三原参事官、山崎参事官、松本参事官

4 議事の概要

- (1) 議題1：平成30年度上半期における個人情報保護委員会の活動実績について

事務局から、資料に基づき説明を行った。

嶋田委員から「匿名加工情報について、9月30日現在において350社以上の事業者が同情報の作成等を公表しており、順調に制度が活用されていると感じた。当委員会が示した匿名加工情報作成に関する基準等も役立つものと思われる。また、外国事業者による個人情報の漏えいについては、当該事業者に対するヒアリングや海外当局との連携等を通じて、事実関係を見極めた上で、国民にも適切な注意喚起を行うなど、かなり視点を広げた活動ができたと思う。こういった事案はこれからも増えていくと思われるので、今後も適切に工夫をして、対応してまいりたい」旨の発言があった。

熊澤委員から「日EU間の枠組み構築については、長い時間をかけて大変な作業をしてきたが、今年度上半期においては、欧州委員会と最終合意に至ったという大きな出来事があった。まだ手続面の作業が残っているが、しっかり取り組み、なるべく早いうちに運用開始できればと思う」旨の発言があった。

宮井委員から「昨今は、サイバー攻撃や不正アクセス事案が増加しており、手口も高度化・複雑化している。こうした事案に対する周知を行うことは当委員会の重要な役割であるが、常に国民・事業者目線に立ち、分かりやすい表現を心掛けて、周知を徹底することが重要だと考える」旨の発言があった。

堀部委員長から「改正個人情報保護法により、当委員会に権限が一元化されて以来、当委員会に対する国民の期待も高まっている。またEUとの最終合意に至ったことで、経済界からの当委員会に対する期待も大きくなっている。こうした期待に応えるべく、今後も実績を高めていく必要がある」旨の発言があった。

原案のとおり決定され、ホームページに掲載することとなった。

以上